八代三大イベントの一つ 昭和（1986年）のくま川祭り

祭りで振り返る昭和と令和 やっぱり祭りは浴衣でいこう♪

回顧 くま川祭りを振り返る

遂に今年から3年ぶりに再開されることとなったくま川祭り（第55回）。その始まりは戦後の昭和37年まで行なわれていた「納涼祭」が、昭和38年から「八代港祭り」へ、そして昭和43年に「くま川祭り」へと名称が変更になり現在へと続いているのです。では、昔の「くま川祭り」はどんなものだったのか？あえて第1回ではなく、昔懐かしいと思われる方もいらっしゃるのではないかと、当時は3日間に渡って開催されていた36年前の昭和61年の「くま川祭り」でどんなイベントが行なわれていたのか調べてみました。

祭 「くま川祭り」初日 昭和61年8月2日（土）

この日開催された大きなイベントは「アマチュアバンドフェスティバル」と「カラオケのど自慢大会」。会場となった厚生会館前の舞台で13バンドがステージを披露。続いて行なわれたカラオケの決勝大会には10名が出場しその歌声を競いました。またステージイベントの最後には、故ばってん荒川さんが登場し、歌とトークショーで会場に訪れた大勢の観客を楽しませました。

祭 2日目

この日は現在でも続く「子供みこし」や「ガラッパみこし」が披露され、最後は祭りの一大イベント「市民総踊り」が行なわれ、八十五団体約6500人が参加、祭りは最高潮を迎えました。ちなみに今ではすっかり「くま川祭り」の顔ともなったガラッパが登場したのは昭和57年の祭りからで、三波春夫さんが歌う「八代音頭」が総踊りの課題曲（笑）となったのは昭和60年からなのです。

祭 3日目

今では、八代の花火大会と言えば毎年10月第3土曜日に開催される「やつしろ全国花火競技大会」ですが、平成16年迄はくま川祭りのフィナーレを飾るイベントとして開催されていた「納涼花火大会」がやつしろを代表する花火大会でした。昭和61年には九州初公開となる花火とレーザー光線のコラボ花火6000発が夏の夜空を彩りました。

ほかにも当時は、祭り前に厚生会館で、「ミス八代コンテスト」や球磨川での手作りのイカダ乗り競争など、今では無くなってしまったイベントも開催されていました。

昭和

令和

引用：広報やつしろ第932・933号、八代くま川祭り今昔物語　写真提供：八代くま川祭り振興会